



今月号では「生ごみの水切りについて」を紹介します。  
 普段の生活で出る生ごみの約8割が水分とされています。水分が多いことにより様々な悪影響が発生してしまいます。そこで、水切りの方法となぜ水切りが必要なのか確認し、生ごみの減量化に挑戦してみましょう。

## ごみの水切りのポイント

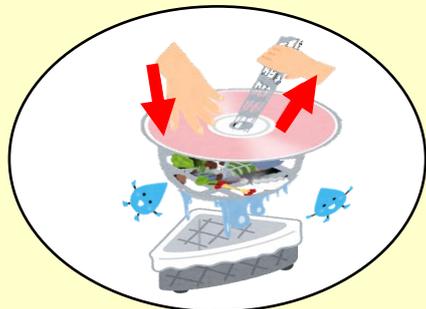
「①濡らさない」 

「②乾かす」 

「③しぼる」 

## ごみの水切りについて

①CDディスクを使った水切り



### 【用意するもの】

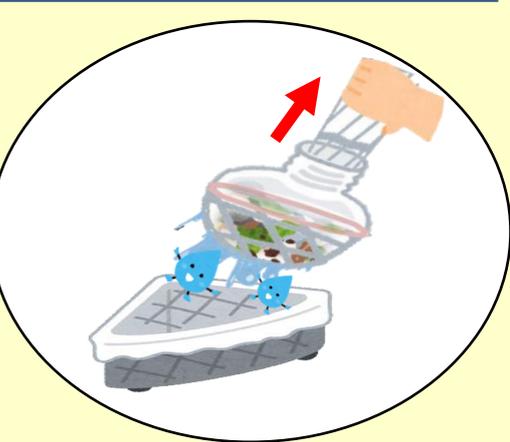
- ・CDディスク



### 【手順】

- ①水切りネットの口部分をCDディスクの穴に通す
- ②通した水切りネットをゆっくりと引っ張る  
→CDディスクを逆の手で押さえると作業が簡単！

②ペットボトルを使った水切り



### 【用意するもの】

- ・ペットボトル 
- ・はさみ 
- ・ビニールテープ 

### 【手順】

- ①はさみでペットボトルの飲み口部分を切り取る

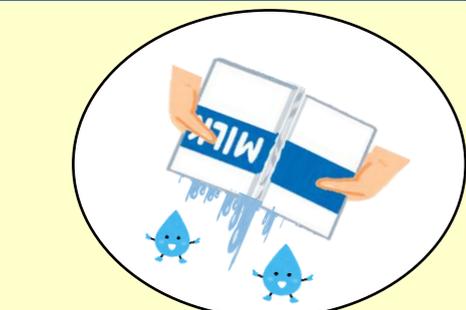


- ②切り取ったものをビニールテープで補強する

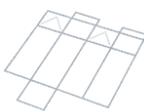


- ③水切りネットの口部分を飲み口の穴に通す
- ④通した水切りネットをゆっくりと引っ張る

③牛乳パックを使った水切り



### 【用意するもの】

- ・紙パック 
- ・はさみ 

### 【手順】

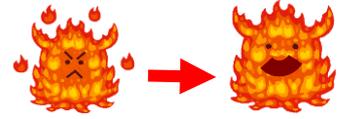
- ①はさみで紙パックを開く
- ②水切りネットを紙パックではさみ両手で押す

## なぜ水切りが必要なのか？

・ごみステーションに出された後の腐敗や腐臭を防止するため  
→ごみを腐らせたり臭いを発生させたりする原因になります。



・ごみ処理にかかるエネルギーを節約するため  
→余分な水分を減らすことにより、余分な運搬・焼却するエネルギーの消費を抑えることができます。



・ごみの量を減らし、ごみ袋代を節約するため



・ごみの重さを減らし、ごみ出しを楽にするため



おすすめ

### 容器の助成を利用してみましょう！

【**生ごみ堆肥化容器購入助成金**】 1世帯2個まで

生ごみを

## 堆肥化

※買い替えは、前回購入日から5年を経過すれば再度助成を受けられます。



●対象の容器 コンポスト・EMバケツ

●申請に必要なもの

名前と購入金額が書かれた領収書(写)、印鑑、通帳

●助成額 1個当たりの購入金額の9割 ※上限6,600円

【**電動生ごみ処理機購入助成金**】

※一度助成を受けた場合、再度助成を受けることはできません。

生ごみを

## 乾燥、堆肥化



●対象の容器 1世帯1台まで

電力を利用し生ごみ処理する機器 → 乾燥方式、微生物分解方式

●申請に必要なもの 印鑑 ※購入前に事前申し込みが必要です

●助成額 1個当たりの購入金額の5割

※上限20,000円

クリーンエコで、電動生ごみ処理機を貸出ししています。(最大4週間)申請には身分証明書が必要です。(免許証、健康保険証など)

チェック

Think ECO の

バックナンバーを見ることができます！



【家庭ごみに関するお問い合わせ先】

市役所 市民環境部 廃棄物対策課 ☎：(代表) 0126-23-4111 (内線2141、2142、2143)  
(直通) 0126-35-4395